

2026 年度 入試問題 出題の意図

総合問題

小論文 出題意図

本設問は、超高齢社会や気候変動による猛暑という身近な社会的課題を題材として、高齢者が置かれている状況や身体的・心理的負担を理解し、将来、医療人として活躍することを目指す者として、相手の立場に立って必要な配慮や対応を考えることができるかを評価することを目的とする。

本学薬学科のアドミッション・ポリシーに掲げる「求める学生像」のうち、特に**「ひとに対する深い思いやりと優れたコミュニケーション能力を持った学生」としての資質を重視し、高齢者の立場や気持ちを想像し、相手を尊重しながら適切に接しようとする姿勢を評価する。また、「医療人として、医療現場や地域で活躍するという強い意志・意欲」**についても、薬剤師という立場を想定して主体的に考える姿勢から評価する。

さらに、「入学までに修得すべき学力・能力」のうち、国語における文章読解力・表現力、および「その他」に示される社会や医療に関する情報を踏まえて考え、それを表現する力について、与えられた状況から課題を見だし、自らの考えを具体的かつ論理的に400字以内で表現できるかを評価する。

なお、本設問は薬学・医療に関する専門的知識の学習量を問うものではなく、①高齢者への思いやり、②相手の立場や状況を理解する力、③適切なコミュニケーションや対応を考える力、④社会・医療の課題について主体的に考える姿勢、⑤自らの考えを論理的かつ適切に表現する力を総合的に評価するものである。

評価する内容	対応するアドミッション・ポリシー
高齢者への思いやり・相手の立場への配慮	求める学生像（4）
コミュニケーションのあり方考える力	求める学生像（4）
薬剤師として患者に向き合おうとする姿勢	求める学生像（1）
社会・医療問題への関心と考察	入学までに修得すべき能力（5）
問題文を正確に理解する力	国語（1）：文章読解力

評価する内容	対応するアドミッション・ポリシー
400 字以内で論理的に記述する力	国語（1）：表現力
自分なりの対応策を考える力	その他（5）：表現力等

特に重要なのは、「**熱中症や薬物療法について詳しく書けた受験生ほど高得点**」としないことである。入試段階では専門知識の量や質に差があるため、「脱水時には〇〇薬を休薬する」といった専門知識よりも、**暑い中で来局した高齢者を見て、何に困っているのか、何をしてあげられるのかを相手の立場から考えられるか**を中心に評価した方が、本薬学科の AP との整合性が高いと考えている。

英語 出題意図

高等学校までに修得した英語の基礎的な語彙・文法力をもとに、英文の内容を正確に読み取る**読解力**と、文脈に応じて英語を適切に理解・表現する**コミュニケーション力・表現力**を評価する。

これらを通して、入学後に医療・薬学を学ぶために必要となる基礎的な英語運用能力を身につけているかを確認する。

数学 出題意図

本設問では、医療・生命科学に関連する身近な題材を用いて、薬学で必要とされる基礎的な数学的処理能力ならびに、文章や図表から必要な情報を読み取り活用する能力を評価することを目的とした。

〔I〕では、濃度、体積、速度などの数量関係を正しく把握し、割合や比例関係を用いて必要な値を求めることができるかを評価した。あわせて、単位を適切に換算し、与えられた数量の関係を整理したうえで、順序立てて計算する能力についても評価した。

〔II〕では、死因別死亡率の経年変化を示したグラフと、文章で示された特徴を対応させることにより、グラフから増減や変化の時期などの特徴を読み取り、文章情報と照合する力を評価した。単に数値を扱う力だけでなく、複数の情報を整理し、それぞれの特徴を比較・判断する能力についても評価した。